

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 三井情報株式会社

コード番号 2665 URL <http://www.mki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 齋藤 正記

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 CFO (氏名) 佐野 秋生

TEL 03-6376-1008

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	33,149	△6.6	858	△39.7	979	△35.7	557	△31.4
24年3月期第3四半期	35,496	10.8	1,423	160.7	1,522	150.3	813	290.4

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 613百万円 (△25.8%) 24年3月期第3四半期 827百万円 (326.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	471.25	—
24年3月期第3四半期	687.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	39,432	31,440	79.7
24年3月期	41,664	31,418	75.4

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 31,440百万円 24年3月期 31,418百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	200.00	—	300.00	500.00
25年3月期	—	200.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	300.00	500.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	△6.9	2,000	△20.2	2,100	△21.6	1,200	△16.3	1,014.00

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成25年2月4日)公表いたしました「平成25年3月期 連結累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.4「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	1,183,431 株	24年3月期	1,183,431 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	— 株	24年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	1,183,431 株	24年3月期3Q	1,183,431 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9
5. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの復興需要による緩やかな景気回復や円高傾向に反転が見られ始めたものの、世界経済を巡る不確実性などの影響もあり、先行きは依然として不透明な状況が継続しました。

当社グループが属するITサービス業界においては、企業によるIT投資は回復の兆しが見られるものの、国内景気の先行き不透明感の影響を受けて全体的に慎重な姿勢が継続しました。

このような環境のもと、中期経営計画（平成23年3月期～平成25年3月期）の3年目を迎えた当社グループは、「既存事業の強化徹底による全社成長の実現」に継続的に取り組む一方、事業拡大に向けて「新規サービスモデルの早期収益化・継続拡大」「成長を支える業務基盤の強化」を積極的に推進してきました。

具体的には、まず新規事業の育成に向けた取り組みとしては、今後の成長戦略を支える事業を育成するため、新たな組織を立ち上げて体制を強化しました。また、当社の強みと技術力を活かした新たな事業展開を目指し、ゲノム解析サービスやビッグデータ活用サービスの実用化、およびクラウドを利用したコンタクトセンターサービスの提供に取り組みしました。

既存事業においては、ERPソリューションにおける事業パートナーとの協業推進、通信キャリアをはじめとする大口顧客との関係強化を図るなど、顧客対応力の強化に努めました。また、データセンターサービス拡販のため他社とのアライアンス体制を強化する等、売上拡大に向けて全社横断的に取り組みましたが、当該期間においては十分な成果をあげることが出来ず厳しい状況が継続しました。

(損益の状況及びセグメント情報)

当第3四半期連結累計期間においては、大口顧客向けのシステム構築案件やネットワーク構築案件の減少等により売上高は331億49百万円（前年同期比6.6%減）となりました。利益面においては、営業利益は8億58百万円（同39.7%減）、経常利益は9億79百万円（同35.7%減）、四半期純利益は5億57百万円（同31.4%減）となりました。

セグメント別売上高の内訳と概況は以下のとおりです。

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		前年同期 増減率 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ビジネス ソリューション事業	14,158	39.9	12,263	37.0	△13.4
プラットフォーム ソリューション事業	18,480	52.1	17,953	54.2	△2.9
サービス事業	2,857	8.0	2,932	8.8	2.6
合計	35,496	100.0	33,149	100.0	△6.6

ビジネスソリューション事業

主要顧客である三井物産向けの売上高減少に加えて、新規顧客の開拓が進まなかったこと等により、売上高は122億63百万円（前年同期比13.4%減）となりました。

プラットフォームソリューション事業

音声ネットワーク分野は、コンタクトセンター構築案件の増加等により業績は順調に推移しましたが、データネットワーク分野は通信キャリア向けのネットワーク構築案件が大幅に減少しました。その結果、売上高は179億53百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

サービス事業

クラウド関連サービスにおいては、サーバ仮想化分野での売上高減少等がありましたが、情報システムの運用アウトソースサービスの増加により、売上高は29億32百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は394億32百万円となり、前連結会計年度末に比べて22億31百万円の減少となりました。

流動資産につきましては、仕掛品17億82百万円の増加、預け金17億円の増加等がありましたが、現金及び預金11億24百万円の減少、受取手形及び売掛金37億38百万円の減少、有価証券10億円の減少等により、前連結会計年度末に比べて22億18百万円の減少となりました。

固定資産につきましては、無形固定資産2億60百万円の増加、投資その他の資産53百万円の増加がありましたが、有形固定資産3億26百万円の減少により、前連結会計年度末に比べて12百万円の減少となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は79億91百万円となり、前連結会計年度末に比べて22億54百万円の減少となりました。

流動負債につきましては、前受金6億97百万円の増加等がありましたが、支払手形及び買掛金10億47百万円の減少、未払法人税等9億4百万円の減少、賞与引当金12億18百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べて22億62百万円の減少となりました。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べて大きな変動はありませんでした。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は314億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円の増加となりました。

株主資本につきましては、四半期純利益の計上による利益剰余金5億57百万円の増加がありましたが、配当による利益剰余金5億91百万円の減少により、前連結会計年度末に比べて34百万円の減少となりました。

その他の包括利益累計額につきましては、その他有価証券評価差額金33百万円の増加等により、前連結会計年度末に比べて56百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

主要顧客の大型IT投資が谷間を迎え、また求められるサービス内容にも変化が見られるなど厳しい経営環境の中、新規サービスの提案や積極的な顧客開拓により売上高増加を目指してきました。しかしながら、主要顧客向けの売上高減少を補うには至らなかったことに加え、通信キャリア向けのネットワーク構築案件が想定以上に減少したこと等により、売上高は当初の予想を下回る見込みです。また、利益率の向上と販売費及び一般管理費の抑制に努めているものの、売上高の減少により利益につきましても当初の予想を下回る見通しとなったことから、平成24年5月7日に公表いたしました通期の連結業績予想を下表のとおり修正いたします。

なお、平成25年3月期の期末配当金につきましては、平成24年5月7日に公表しましたとおり、1株当たり300円を予定しております。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 53,000	百万円 2,700	百万円 2,800	百万円 1,700	円 銭 1,436.50
今回修正予想 (B)	48,000	2,000	2,100	1,200	1,014.00
増減額 (B-A)	△5,000	△700	△700	△500	-
増減率 (%)	△9.4	△25.9	△25.0	△29.4	-
(参考) 前期 (平成24年3月期) 実績	51,548	2,505	2,678	1,433	1,211.06

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微です。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,273	3,149
受取手形及び売掛金	9,843	6,105
有価証券	2,000	1,000
商品及び製品	358	611
仕掛品	1,048	2,830
前払費用	1,236	1,375
預け金	13,800	15,500
その他	1,000	769
流動資産合計	33,560	31,341
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,271	2,083
工具、器具及び備品(純額)	1,376	1,267
土地	1,550	1,550
その他(純額)	29	0
有形固定資産合計	5,226	4,900
無形固定資産		
のれん	13	3
その他	920	1,191
無形固定資産合計	934	1,194
投資その他の資産		
差入保証金	1,099	1,086
その他	858	925
貸倒引当金	△16	△16
投資その他の資産合計	1,942	1,995
固定資産合計	8,103	8,090
資産合計	41,664	39,432
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,354	2,307
未払法人税等	998	94
前受金	2,434	3,131
賞与引当金	1,779	560
役員賞与引当金	29	17
受注損失引当金	12	89
その他	1,368	1,513
流動負債合計	9,978	7,715
固定負債		
資産除去債務	82	83
負ののれん	119	112
その他	65	80
固定負債合計	267	276
負債合計	10,245	7,991

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,113	4,113
資本剰余金	14,470	14,470
利益剰余金	12,806	12,772
株主資本合計	31,390	31,356
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37	71
繰延ヘッジ損益	9	20
為替換算調整勘定	△19	△7
その他の包括利益累計額合計	27	84
純資産合計	31,418	31,440
負債純資産合計	41,664	39,432

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	35,496	33,149
売上原価	25,767	24,051
売上総利益	9,728	9,097
販売費及び一般管理費	8,304	8,239
営業利益	1,423	858
営業外収益		
受取利息	32	35
受取配当金	6	6
持分法による投資利益	3	7
受取保険金	19	—
その他	41	70
営業外収益合計	103	120
営業外費用		
為替差損	3	—
その他	1	0
営業外費用合計	5	0
経常利益	1,522	979
特別利益		
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	9	—
会員権評価損	1	—
特別損失合計	11	—
税金等調整前四半期純利益	1,511	979
法人税、住民税及び事業税	448	169
法人税等調整額	249	251
法人税等合計	697	421
少数株主損益調整前四半期純利益	813	557
四半期純利益	813	557

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	813	557
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	33
繰延ヘッジ損益	△2	11
為替換算調整勘定	△4	11
その他の包括利益合計	14	56
四半期包括利益	827	613
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	827	613
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (注) (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	ビジネスソリ ューション事 業 (百万円)	プラットフ ォームソリ ューション 事業 (百万円)	サービス事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	14,158	18,480	2,857	35,496	—	35,496
セグメント間の内部売上高又は振替高	256	30	10	297	△297	—
計	14,415	18,510	2,868	35,793	△297	35,496
セグメント利益又は損失(△)	1,028	470	△421	1,078	345	1,423

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりです。

	調整額(百万円)
セグメント間取引消去等(※1)	119
全社費用配賦差額(※2)	234
棚卸資産の調整額	△11
固定資産の調整額	2
合計	345

(※1) セグメント間取引消去等の主な内容は、各報告セグメントが負担する営業費用と報告セグメントに帰属しない本社管理部門の営業外収益との消去によるものです。

(※2) 全社費用については社内基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (注) (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	ビジネスソリ ューション事 業 (百万円)	プラットフォーム ソリューション 事業 (百万円)	サービス事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	12,263	17,953	2,932	33,149	—	33,149
セグメント間の内部売上高又 は振替高	226	33	9	269	△269	—
計	12,490	17,986	2,942	33,419	△269	33,149
セグメント利益又は損失(△)	531	601	△380	752	106	858

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりです。

	調整額 (百万円)
セグメント間取引消去等(※1)	145
全社費用配賦差額(※2)	△31
棚卸資産の調整額	△7
固定資産の調整額	0
合計	106

(※1) セグメント間取引消去等の主な内容は、各報告セグメントが負担する営業費用と報告セグメントに帰属しない本社管理部門の営業外収益との消去によるものです。

(※2) 全社費用については社内基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失に与える影響額は軽微です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

5. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	前年同期比 (%)
ビジネスソリューション事業 (百万円)	5,803	88.6
プラットフォームソリューション事業 (百万円)	5,473	101.1
サービス事業 (百万円)	42	157.2
合計	11,320	94.4

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 上記の金額は、セグメント間取引の相殺後の数値です。

② 受注及び受注残高状況

当第3四半期連結累計期間の受注及び受注残高状況をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
ビジネスソリューション事業	8,388	61.2	4,249	57.6
プラットフォームソリューション事業	18,233	94.6	11,718	115.0
サービス事業	3,075	103.9	2,150	116.0
合計	29,698	82.6	18,119	93.3

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 上記の金額は、セグメント間取引の相殺後の数値です。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	前年同期比 (%)
ビジネスソリューション事業 (百万円)	12,263	86.6
プラットフォームソリューション事業 (百万円)	17,953	97.1
サービス事業 (百万円)	2,932	102.6
合計	33,149	93.4

- (注) 1. 前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりです。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)
三井物産株式会社	7,593	21.4	6,262	18.9

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 上記の金額は、セグメント間取引の相殺後の数値です。